

令和3年度第1回 米原市まち・ひと・しごと創生に関する 有識者会議

第2期まち・ひと・しごと米原創生総合戦略の概要
および有識者会議の目標について

第2期総合戦略等について

目指すべきまちの将来像

総合戦略

戦略の期間

2020年度(R2年度)～2024年度(R6年度)

まち・ひと・しごと創生法に基づき、国・県の総合戦略を踏まえるとともに、人口ビジョンにおいて示した人口の将来展望の下、今後5か年の基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策をとりまとめたもの

<基本方針>

3世代100年にわたって
『住んでよかった』と実感される
ステキな米原を築く

シティセールスプラン

「びわ湖の素 米原」をコンセプトとして、まちのブランドイメージの確立と米原市民のシビックプライドの醸成に取り組み、本市の認知度やイメージを向上させることで移住・定住を促進し、持続可能なまちを目指すもの

<ブランドコンセプト>

びわ湖の素 米原



目指すべき人口の数値目標

人口ビジョン

本市における人口の現状や市民の認識などを分析し、人口に関する地域課題や人口減少に対する危機感について市民と共有し、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するもの

2040年

総人口 35,929人
生産年齢人口 19,288人
合計特殊出生率 1.80

2060年

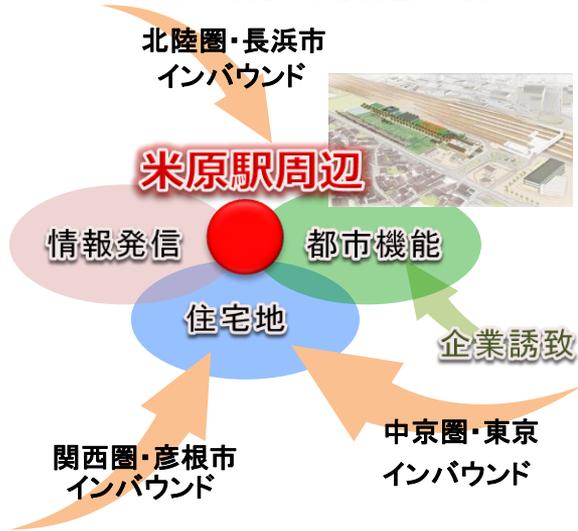
総人口 32,831人
生産年齢人口 18,152人
合計特殊出生率 1.90

相乗効果

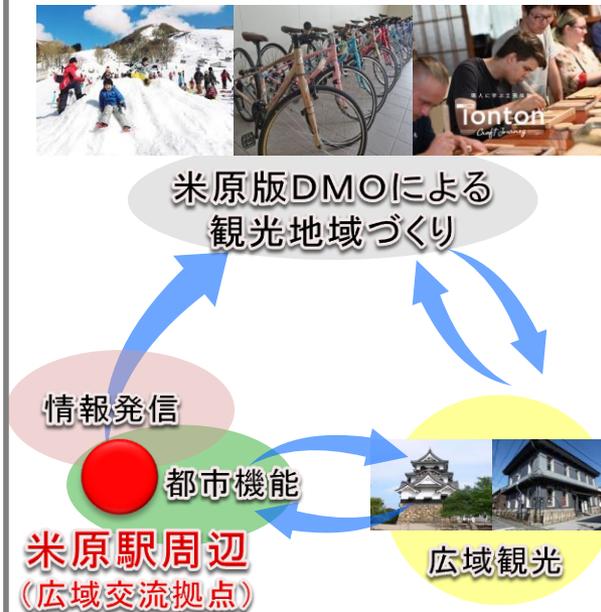
目指す将来像（第2期総合戦略のストーリー）

- ① 広域交流拠点としての新たな価値を創造し、人が集い、にぎわいのあるまちをつくります。
- ② 地域へのひとの流れと地域が稼ぐ仕組みをつくり、活力ある地域づくりを推進します。
- ③ 子育てしやすいまちや自分らしいライフスタイルができるまちとして選ばれるまちをつくります。
- ④ 公共交通を基盤として、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる持続可能なまちをつくります。

① 滋賀県の 広域交流拠点



② 地域が稼ぐまち



③ 選ばれるまち

○ 県内一子育てしやすいまち



保育環境の充実・総合的な少子化対策など

○ 米原版こだわり暮らし



古民家暮らし 半農半x 新幹線通勤
二地域居住

都市部・近隣からの
移住・定住・Uターン

○ 地域公共交通の維持・強化



地域公共交通 × 未来技術

○ 地域の拠点づくり



日常生活などを
支える拠点

④ 持続可能なまち

○ 地域コミュニティの維持



支え合いによる暮らしの安全・安心

総合戦略

目指すべき将来像

<基本方針>
3世代100年に
わたって
『住んでよかった』
と実感される
ステキな米原を築く

<イメージターゲット>
大都市（名古屋・京都・大阪）勤務（または在住）
の若年世帯の女性（独身
～就学前の子どもを持つ世帯の女性）

人口ビジョン

2040年

総人口 35,929人
生産年齢人口 19,288人
合計特殊出生率 1.85

2060年

総人口 32,831人
生産年齢人口 18,152人
合計特殊出生率 1.90

基本目標・数値目標

施策の方向性

施策の視点

1 魅力ある雇用を創出し、女性や若者が活躍するまちを創る

数値目標（2024年達成目標）

- ・新規法人設立届出数50社以上
- ・製造品出荷額等 4,800億円
- ・「商工業振興」の満足度 78.2%

① 魅力ある雇用の創出

- 企業誘致の推進 ○起業・創業支援の強化
- 若者・女性・シニア世代の就職支援

② 地域産業の活性化

- 既存企業への支援 ○地場産品の高付加価値化

③ 農林水産業の成長促進

- 担い手の創出支援 ○未来技術の活用促進
- 生産基盤の確保

2 ひとが集い、若者世代が移り住むまちを創る

数値目標（2024年達成目標）

- ・観光入込客数 224万人
 - ・移住件数 320件
- ※2016年度からの累計件数

① 米原駅周辺の広域交流拠点化

- 米原駅周辺の広域交流拠点化
- JR沿線4駅の付加価値向上

② 地域資源を生かした交流の拡大

- 観光産業イノベーションの推進 ○宿泊・体験型観光の強化
- ホッケーを基軸としたにぎわいづくり ○インバウンド観光の促進

③ 移住・定住の促進

- OU・Iターンの包括的支援 ○住宅環境の整備促進 ○情報発信

3 滋賀県一子育てしやすいまちを創る

数値目標（2024年達成目標）

- ・20-30代の人口目標達成率 100%
- ・合計特殊出生率 1.65

① 結婚・出産・子育ての希望をかなえる施策の充実

- 子育て等の切れ目のない支援 ○経済的負担の軽減

② 総合的な少子化対策の推進

- 保育環境の充実 ○子育て家庭のコミュニティ形成
- 子どもの居場所づくり ○貧困等への包括的支援体制の構築

③ 心豊かで多様な未来を切り拓く子どもの育成

- 特色ある教育の推進 ○ふるさと教育の推進

4 駅を核として地域と地域を結ぶ、安心で安全なまちを創る

数値目標（2024年達成目標）

- ・「安心・安全に暮らせるまちづくり」の満足度 85.0%
 - ・元気高齢者率※ 83.0%
- ※65歳以上高齢者における要支援・要介護認定を受けていない人の割合

① 地域の拠点づくりと地域公共交通ネットワークの強化

- 地域の拠点づくりの推進 ○地域公共交通ネットワークの強化

② 健康長寿社会の実現

- 予防・健康づくりの推進 ○地域医療体制の確保
- 支え合いのコミュニティづくり ○シニア世代の社会参加の促進

③ 既存ストックのマネジメント強化

- 総合的空家対策の推進 ○既存ストックのマネジメント強化

多様な主体とつながり、多様な主体が活躍する（人材活用／協働・連携／共生社会）

新しい時代の流れを力にする（将来予測／未来技術の活用）

令和3年度第1回まち・ひと・しごと創生に関する有識者会議

有識者会議の内容

第2期総合戦略に掲げる目標を令和6年度までに達成できるように、毎年、各施策の実施状況を評価、検証していただきます。

委員の皆さんへのお願い

- 今回の会議で、評価・検証をお願いしたい内容は、
 - ・令和2年度の総合戦略事業
 - ・令和2年度の国の地方創生推進交付金を活用した事業 についてです。
- 併せて、令和3年度の総合戦略事業についても今後に向けた新たな提案や御意見等をお願いします。

*** 各分野の専門的識見、お立場から忌憚のない評価や提案をお願いします。**